

日本環境ジャーナリストの会(JFEJ)主催

ジャーナリズムは「自然の恵み」をどう伝えるのか？

— 利根川流域の生態系サービス —

地球環境基金助成事業

日本環境ジャーナリストの会（JFEJ）では、地球環境基金の助成を受けて一昨年より「生態系サービスをいかに報道するか」をテーマに、利根川流域を例に、取材・研究を続けております。

2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）をきっかけに、一般にも少しずつ知られるようになった「生態系サービス」という新しい概念。「生態系から生まれるさまざまな自然資源から人間が恩恵を受ける」というこの新しい考え方を、ジャーナリズムはどのように伝えていけばよいのでしょうか。

JFEJは、利根川の流域で生態系サービスを受給している研究者、市民組織、自治体、各産業従事者、ジャーナリストなど、さまざまなセクターの方々にご協力いただきながら、取材・研究を続けて参りました。その経過報告として、以下の通りシンポジウムを開催いたします。利根川の上流から下流にかけて、その「自然の恵み」について、それぞれの活動、これまでの取り組み、その報道の手法について、活発な意見交換の場にしたいと思っております。ぜひご参加ください。

【プログラム】（敬称略）

開催挨拶 高田功（集英社／日本環境ジャーナリストの会<JFEJ>会長）

第1部 利根川水源地の環境保全とその報道

清水英毅（森林塾青水塾長）

出島誠一（日本自然保護協会）

高橋英俊（みなかみ町環境課環境政策グループ グループリーダー／
「月夜野ホタルの里」担当）

◆聞き手／岡山泰史（山と溪谷社／JFEJ 理事）

第2部 利根川流域の自然の恩恵と報道

寺田 優（自然醸造「寺田本家」代表取締役）

戸石四郎（銚子在住著述家）

◆聞き手／原 剛（早稲田環境塾塾長／JFEJ 元会長）

第3部 利根川流域の「自然の恵み」をどう伝えるか？

原 剛（早稲田環境塾塾長／JFEJ 元会長）

明珍美紀（毎日新聞記者／水と緑の地球環境本部委員）

金 哲洙（日本農業新聞記者／JFEJ 理事）

【日 時】 2013年1月30日（水）18：30～20：30（受付18：00～）

【場 所】 日本プレスセンタービル 9階会議室
（東京都千代田区内幸町2-2-1）

【資料代】 500円（JFEJ 会員は無料）

お申し込みは JFEJ 事務局にメール（ask@jfej.org）または FAX（03-5825-9737）で以下の必要事項をお送り下さい。定員になり次第、締め切りといたします。

◆◆氏名、ふりがな、所属（勤務先／学校）、連絡先（電話番号、メールアドレス）◆◆